

地域SNSアプリ「ピアッザ」で  
身近な情報を  
交換しませんか？



ダウンロードはこちら→

編集・発行／北区役所 政策推進課(広報担当)  
〒530-8401 大阪市北区扇町2-1-27  
TEL 06-6313-9474 FAX 06-6362-3821  
<https://www.city.osaka.lg.jp/kita/>



8月号の主な記事

- まだ間に合います!～マイナポイント第2弾～……2面
- 【ジシン本防災講座】水害に備えと心構え……3面
- みんなで公園活用事業(パークファン)……4面
- 2022天神天満阿波おどり……4面
- 堂島公園の一部等は路上喫煙禁止地区に……12面
- 見つけてキタ!!北区魅力絵画コンテスト2022……12面

## みんな集まれ防災訓練/ 災害に強いまちをめざして



西天満小5年生の「HUG」の様子。登下校時の「見守り運動」で地域の高齢者と顔馴染みのためか、高齢者への目配りが目立った

講堂に展示された段ボール製の簡易トイレ



### 地域、学校、PTAが連携 人のつながりも広げる

6月中旬、西天満小学校と豊仁小学校で地域ぐるみの防災訓練が実施されました。地域と学校、PTA等が連携し、人のつながりを広げて「災害に強いまち」をめざす工夫が凝らされました。

西天満小では6月12日の日曜参観が防災の授業となり、同時に子どもの避難訓練、防災に関する展示等がありました。地域活動協議会をはじめ地域の皆さんが、学校やPTAに働きかけ、半年かけて打ち合わせを重ね、企画を練りました。西天満連合振興町会長の亀井一郎さんは「保護者にも防災への関心を高めてもらえたら」と話します。

#### 小学生も担い手に

5・6年生の授業は「避難所運営ゲーム」(HUG)。子どもたちは4〜5人ずつの班に分かれて学校の平面図を囲み、多種多様な避難者や、救護物資などをどこに配置するかを考えます。授業の進行役は、事前に北区社会福祉協議会の研修を受けたPTAの皆さんや関西国際大学の地域防災サークル「ちーぼ」の学生が務めました。

「足が不自由なお年寄りは1階」「認知症の人は家族と一緒に」「赤ちゃん連れは防音の音楽室へ」等、どの班も高齢者や子どもへの目配りが目立ちました。「福祉と防災がつながりました。小学生も防災の力になれるし、この授業の記憶は財産になると思います」と「ちーぼ」部長の西田樹さん。

授業の後、子どもは避難訓練、大人は講堂で防災グッズ等の展示を見たり、地域で防災に携わる皆さんの話を聞いたり。校庭には消防車や大阪市の地震体験車も来て、さながら「防災博覧会」でした。西天満小が今年で創立150周年ということもあり、江戸時代の風景画や昔の写真のパネル等も展示されました。

#### 顔の見える関係を

当日は、西天満小の校下である西天満地域と菅南地域が協力して運営にあたりました。西天満地域の防災部長・山本一晴さんは、小学校は人のつながりを広げる絶好の場だと考えています。「PTA世代にはぜひ地域防災の担い手になってほしいし、マンションの住民も学校行事なら参加しやすいでしょう」

豊仁小学校では6月18日、土曜日の授業時間に地震・津波を想定した避難訓練がありました。地域の防災リーダーも参加し、子どもたちに顔を覚えてもらう機会にもなりました。「顔の見える関係」は、災害時に大きな力となります。前田昌則区長も「災害を乗り越えるのは、人と人との絆」と強調しました。

「北区将来ビジョン」の「人が集い、ともに支えあい、絆をはぐくむまち」は、災害に強いまちでもあります。その実現へ、「3か年計画」に令和5年度に防災訓練・講座への参加者1万人という目標を掲げています。

地域防災リーダーも参加した豊仁小の避難訓練



校庭に大阪市の地震体験車も

5～8面に  
保存版・防災特集

